

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【公表番号】特表 2001-502086 (P2001-502086A)

【公表日】平成 13 年 2 月 13 日 (2001.2.13)

【出願番号】特願平 10-516711

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 19/00

G 0 6 F 13/00

H 0 4 L 29/06

【F I】

G 0 6 F 15/42 Z

G 0 6 F 13/00 3 5 1 B

H 0 4 L 13/00 3 0 5 B

G 0 6 F 15/42 X

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 21 日 (2004.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年 7月21日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第516711号

2. 補正をする者

氏名(名称) イーストマン コダック カンパニー

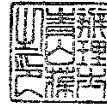
3. 代理人

住所

〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 請求の範囲

方式審査



5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙の通り

別紙

請求の範囲

1. 異なる仕様の複数の医療作像装置（12）と、異なる複数の作像装置（18）の少なくとも1つとの間で、ネットワークインタフェース（28）を介して医療画像情報を伝送するシステムであって、

複数のネットワークインタフェースプロトコルの選択された1つに従って1つ又はそれ以上のネットワークインタフェース要素（33）を具体化するネットワーク実行要素を備え、上記ネットワークインタフェース要素（33）の各々は上記医療作像装置（12）の1つから上記ネットワークインタフェース（28）を介して医療画像情報を受信するように構成され、上記医療画像情報は上記選択されたネットワークインタフェースプロトコルに従って受信され、上記ネットワークインタフェースプロトコルの各々は選択された医療作像装置（12）に特に関連付けられ、かつ、上記ネットワークインタフェース要素（33）の各々は上記受信された医療画像情報に基づいて第1の作像要求を生成するように構成され、上記第1の作像要求は上記選択されたネットワークインタフェースプロトコルに従って生成され、

1つ又はそれ以上の出力インタフェース要素（16）を備え、上記出力インタフェース要素（16）の各々は、上記ネットワークインタフェース要素（33）の1つによって生成された上記第1の作像要求に基づいて第2の作像要求を生成するように構成され、上記第2の作像要求は異なる複数の出力インタフェースプロトコルの1つに従って生成され、上記出力インタフェースプロトコルの各々は上記作像装置（18）の1つに特に関連付けられ、かつ、上記出力インタフェース要素（16）の各々は、上記出力インタフェース要素（16）の1つによって生成された上記第2の作像要求を上記作像装置（18）の1つに伝送するように構成され、上記第2の作像要求は上記出力インタフェースプロトコルの1つに従って伝送され、

1つ又はそれ以上の通信パイプライン（26）を定義するインタフェース実行要素（20）を備え、上記パイプライン（26）の各々は、1つ又はそれ以上の上記医療作像装置（12）と、同一のネットワークインタフェースプロトコルを

使用する上記ネットワークインタフェース要素（３３）の１つと、上記出力インタフェース要素（１６）の１つと、上記作像装置（１８）の１つとを通信可能に相互接続し、これにより、同一のネットワークインタフェースプロトコルを使用する複数の医療作像装置（１２）は単一の通信パイプライン（２６）を介して上記作像装置（１８）の１つと通信することができることを特徴とするシステム。

２． 上記ネットワークインタフェース要素（３３）の各々は、上記ネットワークインタフェース要素（３３）の各々に共通でありかつ上記出力インタフェース要素（１６）の各々によって理解されるベースクラスプロトコルに従って、上記出力インタフェース要素（１６）の１つに対して上記第１の作像要求を送信する第１のインタフェースを含むことを特徴とする請求項１記載のシステム。

３． 上記ベースクラスプロトコルは、オブジェクト指向階層に従って定義されていることを特徴とする請求項２記載のシステム。

４． 上記出力インタフェース要素（１６）の各々はさらに、上記作像装置（１８）の１つから上記第２の作像要求に対する第１の応答を上記出力インタフェースプロトコルの１つに従って受信し、上記第１の応答に基づき上記出力インタフェースプロトコルの１つに従って第２の応答を生成するように構成され、

上記ネットワークインタフェース要素（３３）の各々はさらに、上記出力インタフェース要素（１６）の１つによって生成された上記第２の応答に基づき上記ネットワークインタフェースプロトコルの１つに従って第３の応答を生成し、上記ネットワークインタフェースプロトコルの１つに従って上記第３の応答を上記医療作像装置（１２）の１つへ伝送するように構成され、

上記インタフェース実行要素（２０）によって定義された上記パイプライン（２６）の各々は、上記医療作像装置（１２）と上記作像装置（１８）の１つとの間の双方向通信のために、１つ又はそれ以上の上記医療作像装置（１２）と、上記ネットワークインタフェース要素（３３）の１つと、上記出力インタフェース要素（１６）の１つと、上記作像装置（１８）の１つとを通信可能に相互接続する双方向パイプラインであることを特徴とする請求項２記載のシステム。

５． 上記出力インタフェース要素（１６）の各々は、上記出力インタフェース要素（１６）の各々に共通でありかつ上記ネットワークインタフェース要素（３３

）の各々によって理解される第2のベースクラスプロトコルに従って、上記第2の応答を上記ネットワークインタフェース要素（33）の1つに伝送する第2のインタフェースを含むことを特徴とする請求項4記載のシステム。

6. 上記インタフェース実行要素（20）は、上記ネットワークインタフェース要素（33）の各々が上記出力インタフェース要素（16）の1つに係るクライアントでありかつ上記インタフェース実行要素（20）が上記ネットワークインタフェース要素（33）の各々に係るクライアントであるようなクライアント-サーバ関係に従って上記パイプライン（26）の各々を定義することを特徴とする請求項4記載のシステム。

7. 上記ネットワークインタフェース要素（33）と上記出力インタフェース要素（16）との間の通信は、上記ネットワークインタフェース要素（33）によって生成されかつ上記出力インタフェース要素（16）によって実行される遠隔プロシージャコールによって実行され、

上記インタフェース実行要素（20）と上記ネットワークインタフェース要素（33）と上記出力インタフェース要素（16）との間の通信は、上記インタフェース実行要素（20）によって生成されかつ上記ネットワークインタフェース要素（33）によって実行される遠隔プロシージャコールによって実行されることを特徴とする請求項6記載のシステム。

8. 所定の仕様の複数の作像装置（12）によって伝送された医療情報をネットワーク上へ配信する装置であって、

上記作像装置（12）の1つからの作像要求の受信に応答して、対応する第1の作像要求を生成するネットワーク実行手段（14）と、

上記ネットワーク実行手段（14）からの上記対応する第1の作像要求の受信に応答して、対応する第2の作像要求を生成して作像装置（18）へ送信する出力インタフェース手段（16）と、

上記作像装置（12）によって話される入力プロトコルに従って上記ネットワーク実行手段（14）を具体化し、上記作像装置（18）によって話される出力プロトコルに従って上記出力インタフェース手段（16）を具体化するインタフェース実行手段（20）とを備え、

上記ネットワーク実行手段（１４）は、

上記入力プロトコルのネットワークドライバプロトコルに従って、上記作像装置（１２）から上記作像要求を受信するネットワークドライバ手段（３０）と、

上記入力プロトコルのネットワークインタープリタプロトコルに従って、上記対応する第１の作像要求を生成するネットワークインタープリタ手段（３２）とを有するネットワークインタフェース手段（３３）を具体化し、

上記インタフェース実行手段（２０）は１つ又はそれ以上の通信パイプライン（２６）を定義し、上記パイプライン（２６）の各々は、１つ又はそれ以上の上記作像装置（１２）と、同一のネットワークインタフェースプロトコルを使用する上記ネットワークインタフェース手段（３３）の１つと、上記出力インタフェース手段（１６）の１つと、上記作像装置（１８）の１つとを通信可能に相互接続し、これにより、同一のネットワークインタフェースプロトコルを使用する複数の作像装置（１２）は単一の通信パイプライン（２６）を介して上記作像装置（１８）の１つと通信することができることを特徴とする装置。

９． 上記出力インタフェース手段（１６）は、

上記ネットワーク実行手段（１４）から上記第１の作像要求を受信しかつ上記対応する第２の作像要求を生成する、上記出力プロトコルの出力インタープリタプロトコルに固有の出力インタープリタ手段（２２）と、

上記対応する第２の作像要求を上記作像装置（１８）へ送信する、上記出力プロトコルの出力ドライバプロトコルに固有の出力ドライバ手段（２４）とを備えることを特徴とする請求項８記載の装置。

１０． コンピュータによって実行されるときに、異なる仕様の複数の医療作像装置（１２）の少なくとも１つと異なる複数の作像装置（１８）の少なくとも１つとの間でのネットワークインタフェース（２８）を介した医療画像情報の伝送を促進させるコンピュータプログラムコードを記憶したコンピュータが読み取り可能な媒体であって、上記コンピュータプログラムコードは、上記コンピュータによって実行されるとき、

複数のネットワークインタフェースプロトコルの選択された１つに従って１つ

又はそれ以上のネットワークインタフェース要素（３３）を具体化するネットワーク実行要素を定義し、上記ネットワークインタフェース要素（３３）の各々は、上記医療作像装置（１２）の１つから上記ネットワークインタフェース（２８）を介して医療画像情報を受信するように構成され、上記医療画像情報は上記選択されたネットワークインタフェースプロトコルに従って受信され、上記ネットワークインタフェースプロトコルの各々は上記医療作像装置（１２）の１つに特に関連付けられ、かつ、上記ネットワークインタフェース要素（３３）の各々は上記受信された医療画像情報に基づいて第１の作像要求を生成するように構成され、上記第１の作像要求は上記選択されたネットワークインタフェースプロトコルに従って生成され、

１つ又はそれ以上の出力インタフェース要素（１６）を定義し、上記出力インタフェース要素（１６）の各々は、上記ネットワークインタフェース要素（３３）の１つによって生成された上記第１の作像要求に基づいて第２の作像要求を生成するように構成され、上記第２の作像要求は異なる複数の出力インタフェースプロトコルの１つに従って生成され、上記出力インタフェースプロトコルの各々は上記作像装置（１８）の１つに特に関連付けられ、かつ、上記出力インタフェース要素（１６）の各々は、上記出力インタフェース要素（１６）の１つによって生成された上記第２の作像要求を上記作像装置（１８）の１つに伝送するように構成され、上記第２の作像要求は上記出力インタフェースプロトコルの１つに従って伝送され、

１つ又はそれ以上の通信パイプライン（２６）を定義するインタフェース実行要素（２０）を定義し、上記パイプライン（２６）の各々は、上記医療作像装置（１２）の１つと、上記ネットワークインタフェース要素（３３）の１つと、上記出力インタフェース要素（１６）の１つと、上記作像装置（１８）の１つとを通信可能に相互接続することを特徴とするコンピュータが読み取り可能な媒体。